

～子供の声を聴こう！これからの学校づくり～



魅力だより



No.1

R5, 7月

高校教育課学校教育生徒指導班

4月の指導主事等会議で説明させていただいたとおり、当班では、昨年度の生徒指導提要の改訂を受け、「魅力ある学校づくり」の取組について推進しているところです。

5月の取組状況を調査したところ、県内約84%の市町村において「魅力ある学校づくり」への取組が始まり、約23%の市町村で、指標となる「意識調査」を実施して取り組んでいるようです。

これも、各市町村教育委員会の御理解と御協力のおかげだと感謝しております。

1学期末を迎え、「意識調査」を実施した各学校においては、これから、いちばん大事な時期を迎えることになります。つまり、1学期末の「意識調査」を各学年で点検・分析し、子供の声を受け止めて、先生方が話し合いながら2学期の取組を見直したり、改善したりする段階を迎えます。

そこで、「意識調査」の後の留意点等を中心にまとめました。

各学校への御指導の際に活用していただけるとありがたいです。

1 ベースは「発達支持的生徒指導」、「課題未然防止教育」

キーワード：「全ての児童生徒が対象」、「全ての教職員で行う」、「全ての教育活動で行う」

2 「意識調査」は強肯定評価に着目

【意識調査】
現在の学校生活について、あなたはどのように感じますか。当てはまるものを右の1から4の中から選び、その番号に○を付けてください。

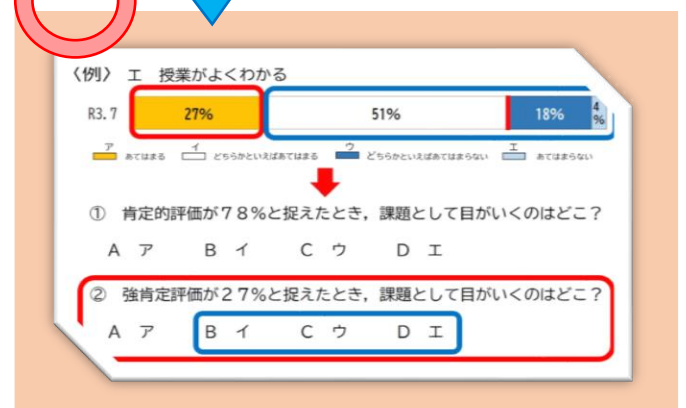
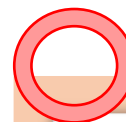
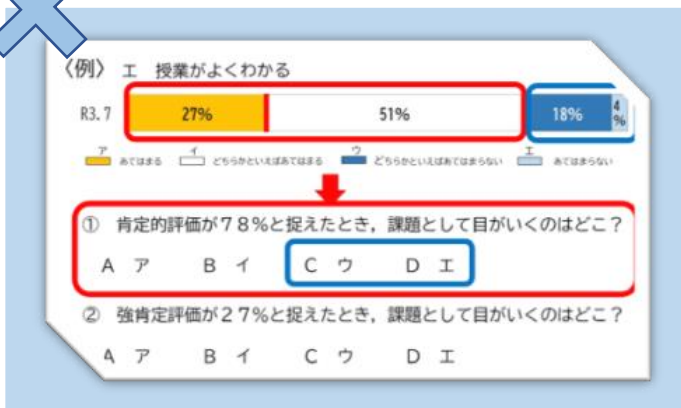
	当てはまる 1	どちらか といえは 当てはま る 2	どちらか といえは 当てはま らない 3	当てはま ない 4
ア 学校が楽しい	1	2	3	4
イ みんなで何かをするのは楽しい	1	2	3	4
ウ 授業に主体的に取り組んでいる	1	2	3	4
エ 授業がよくわかる	1	2	3	4

必要最小限の調査で負担軽減も図りながら意味のある取組をねらう！
・学習と人間関係に絞った質問
・4件法
・無記名式
・学年単位で集計 ※「1, 当てはまる」に焦点化する！

無記名式、4件法、基本的に学年単位で集計

強肯定評価「1, 当てはまる」

に焦点化する！



3 学年会での分析・見直し・改善・計画

意識調査結果の分析→「見積もり値」とのスレに着目

数値目標を使ったCHECK・ACT/PLAN

目標値は「希望値」ではなく「見積もり値」に

パターンA

❌ ① 目標値 (=希望値) を立てる ➡ ② 達成するための取組を考える

パターンB

○ ① 改善を図るための具体的取組方法を考える ➡ ② 目標値 (見積もり値) が決まる
教員の見積もり値とズレがあったな。こう改善すればこれくらいになるだろう。

<実践 (DO) 後のCHECK・ACT/PLAN>

パターンA…目標値 (希望値) の修正へ

パターンB…取組方法の改善へ

目標値 (見積もり値) とのスレを埋める「手立て」を考える

国立教育政策研究所
 高橋知雄研究室 作成資料

話し合いでの共通理解 (例)

- 対象は、全ての子供
- 個別指導・個別支援の話にならないようにする。
- 経験値の有無は関係なし。
- どの立場の意見も尊重する。
- 一人一人の考えを受け入れ、認める。
- ダメ出し、否定はなし。
- 大きな負担があるものは採用しない。
- みんなが納得する。

「先生方の自主性を尊重」

「先生方の自己肯定感・自己有用感」

「信じて委ねる」

子供への発達支持的生徒指導と重なります。
 同僚性、協働性につながります。



みんなが納得！
 ここからは、
 共通理解・共通実践！

学年会等での話し合いの POINT !

① 4つの質問ごとに「当てはまる」のみチェック！

② 特に割合の低い質問をチェック
 →これを「重点項目」にすると改善しやすい。

③ 割合が多い質問
 →取組に効果あり。継続, 更なる改善, 充実, レベルアップ可

④ 割合が少ない質問
 →取組に効果なし。やめる, 修正する, 代替案・他のアプローチを考える。

⑤ 見積もり値を立てる
 →「こうすれば、強肯定評価が〇%にはなるだろう。」

4 不明な点, 疑問があれば, いつでも連絡してください!

各学校では, 取組を進める中で, 不明なことや疑問に思うことが出てくることと思います。ちょっとしたことで, どうぞお気軽にお尋ねください。(市町村教育委員会, 各学校からでも大丈夫です。)

【連絡先】 高校教育課 学校教育生徒指導班